

JODA national team trials

2022年 JODAナショナルチーム 最終選考会 海陽

計測ガイドンス 1/2

1. 規則 セーリング競技規則／セーリング装備規則 2021-2024、 国際OP級クラス規則 2021

2. 一般要件 主催者によって任命された計測員は 大会計測に対し責任を持つものとする。

装備の検査が 計測員の要求を満たした時、艇は 競技する資格がある。

3. レース前計測 (10:30 ~ 16:30 昼休憩アリ)

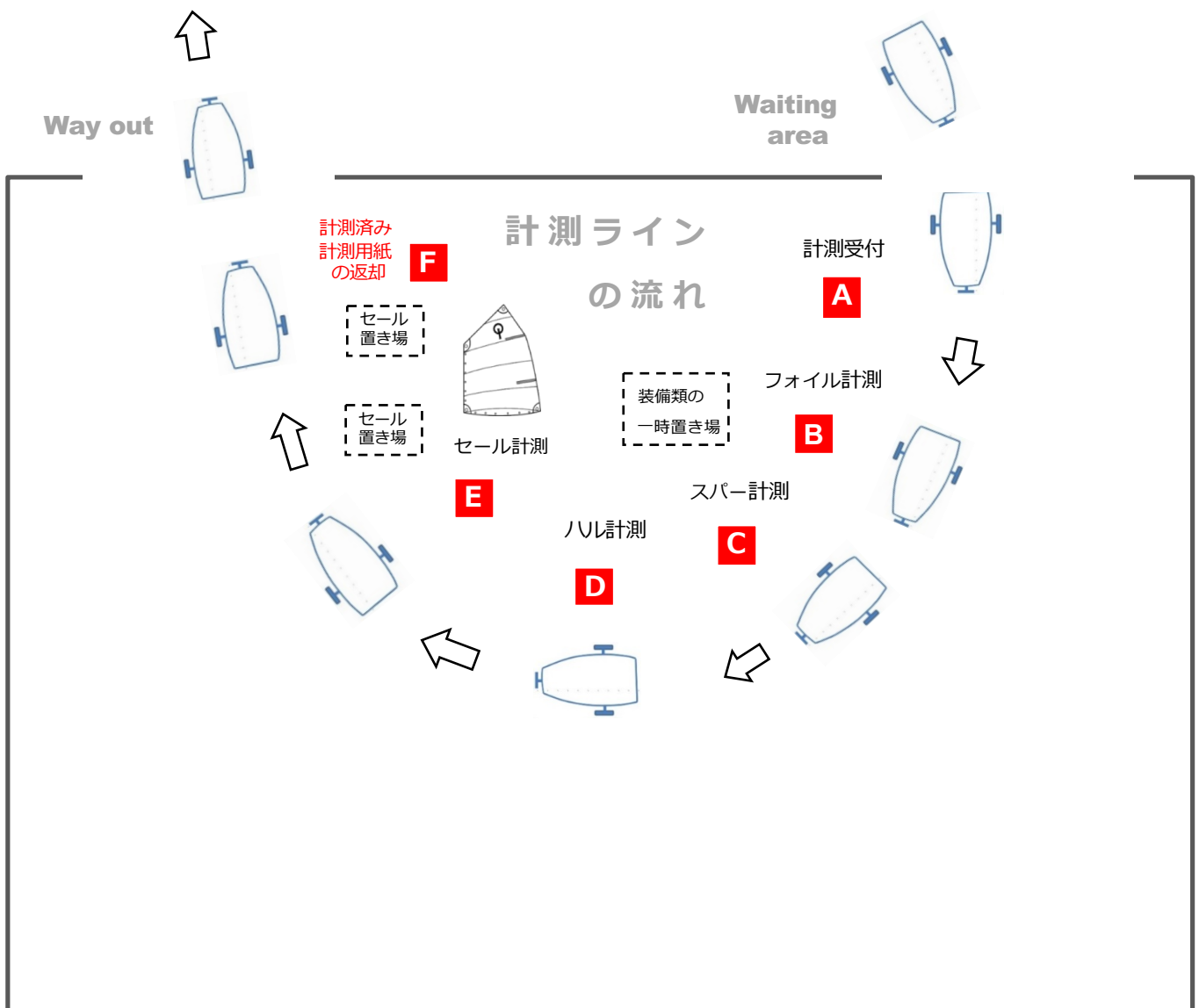
3.1. (a) 原則として 選手、コーチ、監督 以外は、計測場に入場しない。

3.1. (b) 選手の欠場に理由がある場合には、責任ある代理人が 選手を代行する事ができる。

3.2 計測受付: ステーションA

3.2. (a) ①大会計測フォーム、 ②レジストブック (計測証明書 7種類) を提出すること。

3.2. (b) 実際にレースで使用する装備品の 計測証明書だけを (付箋を付けるなどして) 用意すること。



JODA national team trials

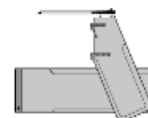
2022年 JODAナショナルチーム 最終選考会 海陽

計測ガイドンス 2 / 2

3.3 フォイル： ステーション B

3.3. (a) シリアルNo. の一致

3.3. (b) ダガーボード にハンドルと認められるロープがついていないか？

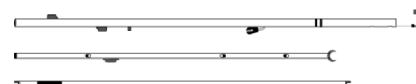


3.4 スパー： ステーション C

3.4. (a) シリアルNo.の一致

3.4. (b) マスト = カラーバンドは ハッキリと記されているか？

3.4. (c) ブーム = バングロープの長さが、艀装した状態で ブームまで届かないこと。



3.5 ハル： ステーション D

3.5. (a) プラークNo. の一致

3.5. (b) もやいロープの浮力、直径5mm 以上 長さ8 m以上。（ クラス規則 4.3 b ）

3.5. (c) – 1 2021年全日本（別府）に使用したハルは重量計測を免除し、それ以外は重量を実測する。

– 2 従って上記の免除艇は 海上練習後のハルが濡れた状態でも計測を行う事ができる。

– 3 2021年全日本以降の新艇 または 2021年全日本で使用しなかったハルは乾燥状態であること。

3.6 セール： ステーション E

3.6. (a) セールラベル／ボタン No. の一致

3.6. (b) デジタル国籍文字／ナンバーは、基本的に認められないが、特例として 2016年 8月14日以前に
新品 または セールNo.変更として計測されたセールの使用は認められる。

2016年 8月15日以降に新規 または 再計測された デジタル表記のセールは 認められない。

3.7 計測完了： ステーション F

3.7. (a) 計測が完了したら 計測フォームに計測員のサインがある事を確認して受付へ提出すること。

3.7. (b) 計測場を退場する前に、各装備品に 大会ステッカーが貼られている事を確認すること。

3.7. (c) もしも 大会中に ステッカーが 剥がれた場合は、テクニカル委員会に申し出て、代りの
ステッカーを貼ること。

4. その他

4.1 電子機器はコンパスと時計機能のみを認める。GPS機能、風向風速、風振れ、艇速、艇の方向、位置に関する機能を持つ装置は禁止する。

4.2 (1) マスト カラーバンドのラインが不鮮明、(2) 黒スパーに紺色バンドなどの 色コントラストが
はっきりしないものは、修正を要求される。

4.3 シリアルナンバーが 判読不能な フォイル、スパーは 選考会前に再計測を受けること。

4.4 装備品の損傷交換時のために用意する 予備の装備品についても 計測証明書とシリアルナンバーの判読を
あらかじめ 確認しておくこと。